

対象年度	令和 8年度							総合計画実施計画策定及び行政評価シート				
事務事業名	食生活改善事業							予算事業名	食生活改善事業費			
予 算 科 目	会計	01	款	項	目	事業	要求区分	根拠法令	健康増進法			
			04	01	03	25	経常経費					
総合計画体系	みんなで支えあい 安心して暮らせる地域福祉を目指す 健康長寿で安心できる暮らしづくり 健康づくりの推進							事業の区分	主要事業			
								担当課係等	健康増進課 健康増進係			
事業期間	継続 (昭和56年度～ 年度)											
【めざす姿 (意図・どのような状態になるのか)】							【事業開始のきっかけや他市の状況など】					
食生活改善推進員に教育を行い、地区組織活動の助成に必要な事業を実施することで、地域住民自らの自主的な食生活の改善を推進する。							昭和53年「国民の健康づくり地方推進事業及び婦人の健康づくり推進事業」の開始に伴い、昭和56年、下館保健所主催の食生活改善推進員養成講習会が結城市民を対象に実施された。昭和57年から養成講習会修了者で結城市食生活改善推進員連絡協議会を発足した。					
【手段 (事業内容・どのようなことを行うのか)】							【対象 (だれに対して・何に対して行うのか)】					
食生活改善推進員を養成し、教育を行う ・食生活改善推進員教育事業：地区組織活動、生活習慣病予防、食育を中心に20時間の養成講習会を開催し、推進員を養成する。 ・食生活改善地区組織活動事業：養成された推進員で構成し、中央研修会で習得した栄養の知識や技術を家庭、地域へと伝達し、地域ぐるみで食生活の改善を目指す。中央研修会、市事業への協力(健康教室、乳幼児健診、各課養成事業)、啓発活動(減塩活動、食事バランスガイドの普及、健康診査受診勧奨)、自主活動(伝達講習会、ヘルシークッキング教室、親子料理教室、郷土料理教室)							結城市食生活改善推進員・市民					
							【事業をとりまく環境の変化】					
							平成9年、地域保健法が施行され、養成事業が保健所から市町村に移譲された。					
【令和 8年度 事業内容】				【令和 9年度 事業内容】				【令和10年度 事業内容】				
・食生活改善地区組織活動事業				・食生活改善推進員教育事業 ・食生活改善地区組織活動事業				・食生活改善地区組織活動事業				

■ 事業費

		R06年度	R07年度			
財 源 内 訳	国 庫 支 出 金	0	0			
	県 支 出 金	0	0			
	地 方 債	0	0			
	そ の 他	0	0			
	一 般 財 源	731	817			
歳 入 計 ( 千 円 )		731	817			
歳 出 内 訳	節 ( 番 号 + 名 称 )	金額 ( 千円 )	金額 ( 千円 )			
	10 需用費	0	89			
	12 委託料	691	688			
	18 負担金補助及び交付金	40	40			
歳 出 計 ( 千 円 ) ( A )		731	817			
伸 び 率 ( % )			11.76			
備 考	総合計画49ページ 予算書118ページ					

# 令和 6年度行政評価シート

## ■指標

種類	指標名	単位		R06年度	R07年度	R08年度
活動 指標	食生活改善推進員の研修会の出席率	%	目標	85.00	85.00	85.00
	食生活改善推進員が自己スキルアップに向けた研修への出席率		実績	84.00	0.00	0.00
	食生活改善推進員の人数	人	目標	50.00	50.00	50.00
	食生活に関する正しい知識を普及させるために活動する食生活改善推進員の人数		実績	40.00	0.00	0.00
成果 指標	食生活改善推進員による伝達人数	人	目標	25,000.00	25,000.00	25,000.00
	食生活改善推進員による、食に関する正しい知識・技術を伝達した延べ人数		実績	18,550.00	0.00	0.00
	推進員一人当たりの伝達人数	人	目標	600.00	600.00	600.00
	食生活改善推進員一人当たりの伝達人数		実績	463.75	0.00	0.00

## ■事業評価

必要性	事業の必要性	A 必要性は高い	結城市は脳血管疾患、糖尿病等の生活習慣病による死亡標準化比が高く、疾病予防のために正しい食生活の普及・推進が必要である。
妥当性	実施主体の妥当性	A 妥当である	国民の健康づくり地方推進事業実施要項において実施主体は市町村と定められている。
	手段の妥当性	A 妥当である	現在の手段が一般的であり、妥当である。
効率性	コストの効率性・人員効率	B どちらとも言えない	コスト効率は高いが、推進員によって事業参加数に偏りがある。
公平性	受益者の偏り	B どちらとも言えない	広く周知しているが、新規の教室参加者は少なくリピーターが多いため偏りがある。
有効性	成果向上の余地	A 上がっている	推進員一人ひとりが自立し、多くの市民に対して自ら伝達活動ができている。
進捗度	事業の進捗	A 順調である	市が事務局として支援し、事業計画どおりに実行できている。
総合評価 上記評価を踏まえて事業全体について評価し、問題点・課題等を指摘してください			
研修会で推進員に教育を行い、学習を基に市民に対して伝達する活動を行っており、推進員が自立して活動を行えるようになってきたことが大きな成果である。次年度は養成講習会を開催するため、推進員を増やし、より多くの市民へ伝達活動を行えるように支援する。			
対応策提言等 この事業を今後どのように改善・改革をしていきますか			
食生活改善のための円滑な地区組織が継続できるよう、活動を通してPRに努め、会員数の維持・増加を図る。広報紙の全戸配布は継続し、広く周知していく。			

## ■方向性

1次評価（1次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策））	
<input type="checkbox"/> 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） <input checked="" type="checkbox"/> 改善改革しながら継続 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続（改善・改革なし） <input type="checkbox"/> 統合・新規事業への展開 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止・終了 <input type="checkbox"/> 予定どおりの要求 <input type="checkbox"/> 一部改善の上要求 <input type="checkbox"/> 今回は見送り <input type="checkbox"/> その他の処置	
方向性の具体的内容 各地域に適切な食生活を普及させるため、食生活改善推進員の養成を継続するとともに、推進員の活動を支援し、自立した地区組織活動を目指す。	
2次評価（2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策））	
<input type="checkbox"/> 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） <input type="checkbox"/> 改善改革しながら継続 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続（改善・改革なし） <input checked="" type="checkbox"/> 統合・新規事業への展開 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止・終了 <input type="checkbox"/> 予定どおりの要求 <input type="checkbox"/> 一部改善の上要求 <input type="checkbox"/> 今回は見送り <input type="checkbox"/> その他の処置	
企画調整会議の意見・考え方（1次評価者と同じ場合も記入） 健康づくり団体活動推進事業へ統合	
管理課連絡欄	